

■第8回江別市都市計画マスタープラン等小委員会 議事概要

日 時 令和6年1月16日(火) 10:00~11:10

場 所 江別市民会館36号室

出席者

小委員会委員(8名):小篠委員長、石橋委員、三好委員、奥野委員、鈴木委員、今林委員、町村委員、佐藤委員

事務局:江別市企画政策部(5名)、日本工営(株)(1名)

議事次第

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議事
パブリックコメントの実施結果について
・江別市都市計画マスタープラン2024(素案)
・江別市立地適正化計画(素案)
4. その他
5. 閉会

1. 開会

- ・委員8名全員が出席しており、本小委員会が成立していることを報告する。(事務局)

2. 委員長挨拶

- ・最後の小委員会になると思うが、パブリックコメントの結果が出ているため、皆様から色々ご意見をいただきたい。(小篠委員長)

3. 議事

<事務局説明省略>

<質疑応答>

【大学連携について】

- ・パブリックコメントの意見を受けて文京台地域における、大学連携や学生にとっての魅力的な地域づくりについて追記した。人口が減っていく状況にあり、私立大学がそのままあり続ける保証はない。大学が立地していることの優位性をまちづくりの方針として掲げてきたので、強調して書き足している。北海道情報大学のある野幌地域についても同様に追記した。(小篠委員長)
- ・具体的に裏付けとなるような連携に関する施策やその予定はあるか。(石橋委員)
- ・大学連携については今行っている取組を意識した記載としている。例えば、江別のまちづくりに関する研究や地域と連携した取組などに対して市が補助金を出すというソフト施策を別の所管で行っている。現時点では土地利用に絡むものはないが、大学との関わりを強調し、市としての大学の重要性を表している。(事務局)
- ・今以上の大学連携をしないと北海道医療大学の移転のようなことが起きてもおかしくないと思うので、担当部局には記載内容を踏まえた施策の推進を伝えてもらえればと思う。(石橋委員)
- ・小篠委員長とは、大学とのまちづくりに関する意見交換の場も必要という話もしており、今後の取組に関しては庁内で連携して考えなければいけない。(事務局)
- ・学生が大学選びで重視する観点のうち、まちづくりに関係するのは大学、地域連携の中で自分の学びをどれだけ深めることができるのか、学生の居住環境、大学のキャンパス整備に

対して江別市としてどれくらいコミットできるのかだと思ふ。更に追記するのであれば、大学経営に関する記載を追加してもらえればと思ふ。(石橋委員)

- ・ 学生の活動に対する補助など、実際に実施している施策について、まちづくりに関わっている一部の先生だけが知っていて、関わっているのが実態。それでは、大学の執行部には江別市とは何も連携していないと思われてしまう。担当部署にはその辺りを意識するように伝えたほうが良いと思ふ。(小篠委員長)
- ・ パブリックコメントの意見は、大学が撤退した後はどうするかを今から考えた方が良いのではという意見だと思ふが、その準備は必要と思ふ。また、大学と行政の連携した取組をいくつか知っているが、やりっぱなしではなく、続けていく仕組みも考える必要がある。市内での就職の受入れ数には限りがあると思ふので、ベンチャー魂を持った学生が江別に定着してビジネスを起こせる場所を用意するなど、象徴的なものを考えていくことも必要ではないかと思っている。(町村委員)

【自治会排雪について】

- ・ 2ページに自治会排雪の費用を自分の自治会だけ負担しており、公平性に欠けるというご意見が記載されているが、事実誤認のため伝えてあげる必要があると思ふ。(鈴木委員)
- ・ 所管に確認したところ、自治会ごとに費用の徴収方法が異なるため、認識に違いが出ているのではないかとこのことで、個別に話ができれば説明しているとのことであった。(事務局)

【計画素案の承認について】

- ・ 都市計画マスタープランと立地適正化計画の素案については、承認ということでよいか。(小篠委員長)

《一同了承》

4. その他

- ・ 今後のスケジュールについて、1月31日(水)14:30~の都市計画審議会で最終報告し、答申をいただき、内部の決裁を経て、印刷・製本と考えている。また、立地適正化計画について、今回初めて策定する計画であることから、今年度策定し、次年度4月から3か月周知期間を設け、7月から運用開始、届出開始と考えている。(事務局)
- ・ 令和4年度から計8回小委員会を行ってきたが、今回で最後となるので皆様から一言ご挨拶をいただきたい。(小篠委員長)

●佐藤委員

2年間小委員会に参加させていただき、貴重な意見を言えたかわかりませんが、今回立派な案が出来て、良かったと思ひます。どうもありがとうございます。

●町村委員

本審議会と並行して行政審議会の委員もしておりました。都市計画に関しては今まであまり知る機会がありませんでしたが、良い経験の機会をいただいたと思ひました。商工会議所の立場なので、経済や産業振興等の視点で参加していきたかったですが、除雪や防災など、市民生活に近い部分が大きなきテーマになってくる領域だと再認識しました。良い経験をさせていただきました。どうもありがとうございます。

●今林委員

3回くらいの参加でしたが、大変勉強になりました。大麻地域に住んでおり、自治会連絡協議会の所属のため、大麻地域と文京台地域の交流がないことは前々から聞いておりましたが、どの様なことが原因で上手いかないのか少しずつ分かってきたので大変勉強になりました。ありがとうございました。

●鈴木委員

令和6年度から、第7次江別市総合計画とセットでスタートすることになります。具体の施策展開が一番難しい話ですが、本審議会には議員代表もおりますので、江別市がどういう道筋を辿っていくのかしっかりチェックしながら対応したいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

●奥野委員

前任の角田道議の後任ということで途中参加させていただきました。都市の基本方針について皆様が議論されて、10年のスパンで計画を作っているということを重々勉強させていただいた良い機会でした。30年後は道内でも人口が40～50%減っていくという課題がある中で、江別の以後10年、20年、30年先を考えると、江別市の魅力を発信しながら今住んでいる皆様が安心して、また、充実した生活を送れるのかということが大事だと思いました。今回パブリックコメントの提出者が3名で、このような部分に課題を感じながらも、私も住民のニーズをしっかりと受け止めて伝えていく議員としての使命を感じ、今後のプランに関しても議会の一員としてしっかりと議論を進めて参りたいと思っております。このような機会をいただいて皆様本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●三好委員

私は商店街が中心になってまちづくりが行われると信じております。今回まちづくりに商店街の位置づけをしていただきましたので、面白い商店街を作っていただきたいと思います。そして私も協力していけたらと思います。

小委員会に参加させていただき、色々なことを勉強させていただきました。委員長含め、委員の皆様、事務局の方々、色々ご苦勞なさいと思います勉強になりました。ありがとうございました。

●石橋委員

まずは事務局の皆様、小篠先生を含めた委員の皆様お疲れ様でした。大変素晴らしいものが出たと個人的に思っております。前回の都市計画マスタープラン作成にも関わらせていただきました。その当時は少子高齢化でしたが、今はまさに人口減少の真っ只中で、そのようなことを見据えた中でプランニングの難しさを今回本当に勉強させていただきました。非常にシビアな状況の中で、10年先を見越して作らないといけないことに対して、ある意味怖さのようなものを感じました。そのような中で計画策定に携わった事務局の皆様を中心として委員の皆様に対して心から敬意を表したいと思っております。これからは具体的な施策展開や予算の確保、実施などのフェーズに移っていくと思っております。引き続き何らかの形でお手伝いさせていただくこともあろうかと思いますが、まずは今回このような形で携わらせていただいたことに対して御礼を申し上げます。ありがとうございました。

●小篠委員長

2つの計画を同時に、さらに、短期間で作るというのは大変なことでしたが、ご協力いただき本当にありがとうございました。自信を持って都市計画審議会に報告出来るものになったと思います。計8回議論させていただき、その間に事務局と何回議論したか覚えておりません。大変な数の議論と資料作りを経てここまできたわけですが、江別の特徴は何かと考えた時に商店街をどのように今後位置づけていく必要があるか、また、高齢化が進展していく中で歩いて暮らせる街をどのように作っていくのかは非常に大きな課題で、それはやはり大きなショッピングセンターばかりという話にはならないという話になり、元々ある商店街の見直しは非常に大事だということで、今回立地適正化計画の中で商店街を特出しして、誘導施設として記載しました。それが非常に大きな話だったと思います。また、複合施設と名前をつけた誘導施設を商業機能とは独立して設定したのは、今のところ江別市だけだと思います。このような点で非常に地域に即した立地適正化計画になったかと思っております。計画の前段に防災について多く記載しました。これはハザードマップで浸水区域がある部分があり、その中に都市が存在していることをどう考えた上で、都市機能を誘導していかなければいけないのかという課題があったので、そこをしっかりと書いたことで皆様にもご理解いただいたと思います。また、経済、福祉、産業振興、観光、教育、防災

等の話も関係する中で、様々な異なるセクションと連携を出来たのではないかと思います。ただ計画を実現出来るかは、今後の取り組みになります。

今後10年で大きく変わっていくところは、やはり人口減少が本格化することだと思います。これに対して、都市の課題として浮き上がってくるものはいくつかあると思います。それを10年待たずに、検討せざるを得ない状況になることも予想されるので、その辺りは審議会も含めて適宜進捗を管理しつつ、施策を打っていくことが必要だと思います。いずれにせよ、都市計画マスタープランと立地適正化計画があることで、ある程度やるべきことが明確になってきていると思うので、これを基にまちづくりを進めていただければと思います。皆様本当にありがとうございました。

事務局からも挨拶をお願いします。

●伊藤次長

企画政策部次長の伊藤です。本来であれば、企画政策部長からご挨拶申し上げるところですが、公務により出席が叶いませんでしたので、代わりまして、私から一言ご挨拶申し上げます。先ほど、本委員会において、都市計画マスタープランと立地適正化計画の案の承認が得られましたが、令和4年7月から、計8回という、長期間にわたってのご議論となりました。その間、小篠委員長をはじめ、小委員会の8名の皆様におかれましては、ご多忙の中にもかかわらず、ご出席いただき、また、どの回においても長時間に渡り、様々な視点からご議論いただきまして、誠にありがとうございます。特に、小篠委員長、石橋副委員長におかれましては、10年前の現計画に続き、2回目の計画策定に尽力いただき、重ねてお礼申し上げます。事務局として、至らない点多々あったことと思いますが、皆様のご協力などをいただき、残すところ、1月31日に予定している、都市計画審議会への最終報告を行い、答申を受けまして、本年度の完成を見込んでおります。長期間に渡るご議論ありがとうございました。心からお礼申し上げます。委員の皆様におかれましては、今後とも、江別のまちづくりにご助力頂きますようお願い申し上げます。私からのお礼の挨拶とさせていただきます。

5. 閉会

以上